

新潟 焼 山

○概況 (平成 18 年 10 月)

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

○地震の発生状況

新潟焼山付近を震源とする地震は少なく、静穏に経過しました (図 1)。

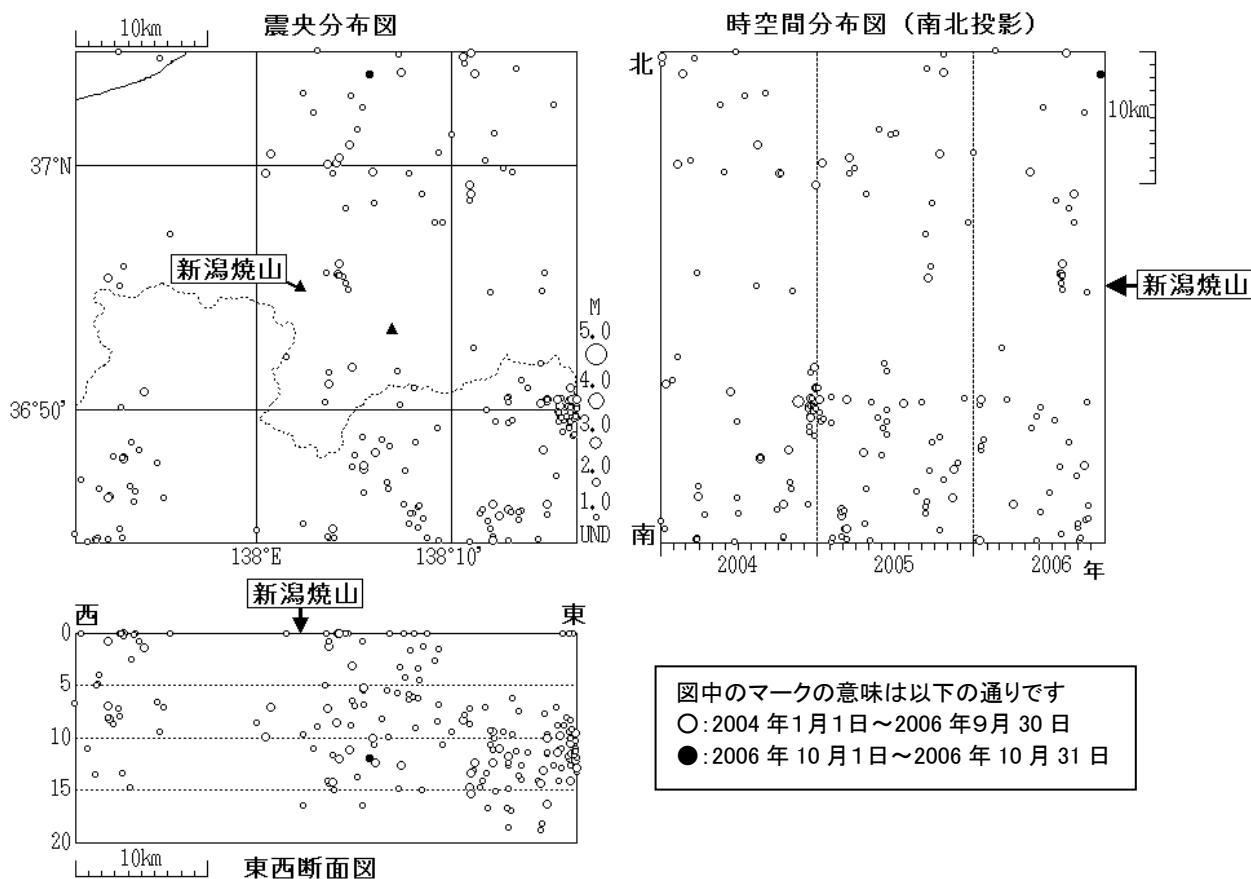


図 1 ※ 新潟焼山 山体及びその周辺の地震活動 (2004 年 1 月 1 日～2006 年 10 月 31 日)

M (マグニチュード) は地震の規模を表します。資料中の M は暫定値で、後日変更することがあります。
カラサワ観測点 (図 4 参照) は機器障害のため欠測中につき、地震回数グラフは掲載していません。

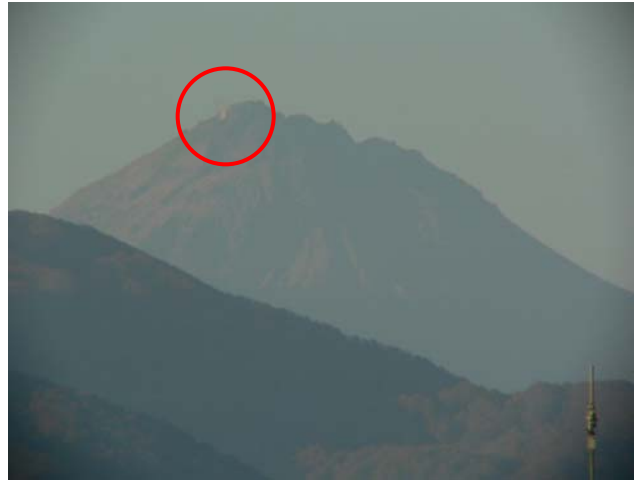
※ この資料は気象庁のほか、新潟県土木部砂防課、京都大学、名古屋大学および独立行政法人防災科学技術研究所のデータ等も利用して作成しています。
本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000 (行政界・海岸線)』『数値地図 50m メッシュ (標高)』を使用しています (承認番号: 平 17 総使、第 503 号)。

○山頂部の状況

気象条件によっては、従来から知られている山頂部東側斜面からの弱い噴気が時折確認されましたが、特段の異常は認められませんでした (図 2)。



(10月22日 焼山温泉監視カメラによる)



(10月28日 北東 37~38 km付近から撮影)

図 2 新潟焼山 山頂部の噴気の状況

赤円内は山頂部東側斜面付近に以前から見られている弱い噴気を示しています。

○観測点情報

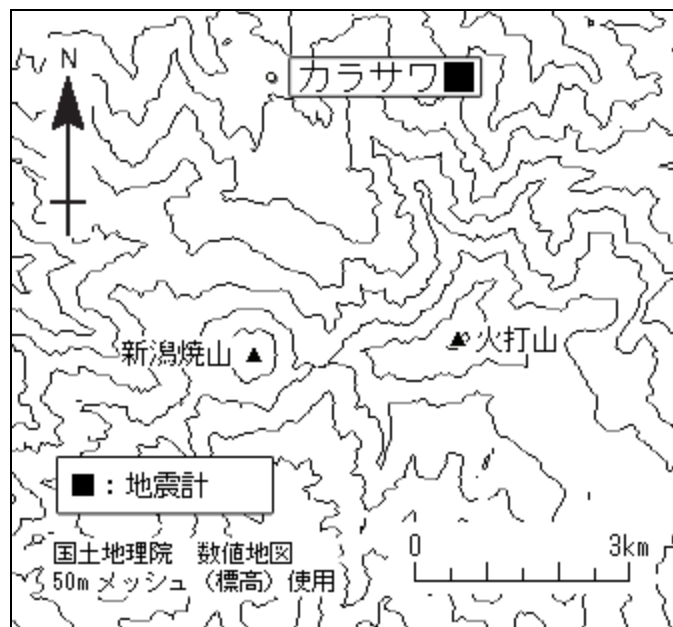


図 3 新潟焼山 気象庁の観測点配置図 (図中の小さな白丸は観測点の位置を示しています。)